

1月号

第420号

いっしん

令和2年(2020年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 /FAX 020-4665-5653
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

喜びは
人の心の
まことなり
日々を喜び
礼びてぞゆけ
甘木親教会
初代教会長
安武松太郎師御歌

教祖様137年 小倉教会布教135年 甘木親教会布教116年 加治木教会布教69年
安武松太郎大人69年 安武文雄大人25年(式年祭11月23日)



信心とは
いかなることを
いうならむ
はじめ忘れぬ
心ならずや
安武松太郎師御歌

令和二年

(2020年)

元旦

新年明けましておめでとうござい
ます。

昨年は、金光教立教百六十年、甘
木親教会布教百十五年という記念の
お年柄でした。いろいろな取り組み
の中で、それぞれ信心の稽古・向上
に取り組ませていただきました。

今年も、甘木親教会二代教会長安
武文雄親先生の二十五年度の式年祭の
お年柄で、十一月二十三日にお仕え
されることが予定されています。

加治木教会には、安武文雄親先生
には特別の御祈念を頂いてきていま
す。前の教会長 矢野政美親先生は、
布教前年に加治木町に家探しに來ら
れましたが、文雄親先生が一緒に
てくださっております。

また、教会後継についても特別に
御祈念下さり、平成三年の後継始め
の時には、ご夫妻で加治木教会のお
広前で政美親先生ご夫妻と信奉者も
そろって御祈念下さいました。

思い起こしても、アルバムをたど
ってみても、加治木教会には特別な
御祈念を賜っており、今年一年、師
恩に報いるお年柄として取り組ませ
ていただきたいと思います。(教会長)

令和元年を

振り返らせていただいて

矢野文枝

※十二月二十二日月例祭でのお話し

今年一年を振り返らせていただきますと、昨年の暮れのことが出されます。

それは、三十日の越年祭を終わらせていただきました翌日のことですが、三十一日の朝、目を覚ましますと、起き上がろうとしても足が痛くて起き上がれませんでした。

前日まで、娘の彰子や孫たちが沖縄から帰ってきています、前夜に彰子の主人の里の鹿児島市内の方に行ってしまった時でした。

立とうとしたのですが左足の踝(くるぶし)のあたりが痛くて痛くて立てませんでした。

どうにか物につかまってお手洗いくに行くようなことでした。

それから一年経たせていただきました。

先生は元日祭の準備をしています



矢野文枝先生

と調べて電話しました。

イオンの所の川俣内科が診てくれるということでした。

何かにつかまって歩くのがやっとで、車椅子が要るようなことでしたので、川俣内科の車椅子で、後ろから押してもらって診察室まで行ったようなことでした。

川俣先生は腫れている足を見られて「何が原因かわからない」と言われました。

私が「五年ほど前、大井病院で下肢静脈瘤の手術をしたことがあります」と言います。

「それならば大井病院をお勧めします」ということで、帰ってきて目の前の大井病院に電話をして簡単に話しますと「いいですよ来てください」ということで「松葉杖をお借りしたいのですが」と言うと「診察を

たので、布団の中から携帯電話で、診てもらえる祝日当番のお医者さんを市報を見

されなければ貸せません」と言われましたので、車椅子で行きまして当直の先生が診て下さいました。

すると、足を見られただけで、痛み止めの薬と湿布を出して下さいました。

帰ってきて、御神米を頂いてから、その薬を頂き湿布を貼りますと、急に傷みが引きだして、しばらくすると少し歩けるようになり、驚くほど傷みが引き、夜になる頃には立てるようになり、階段もゆっくりならば上れるようになりました。

松葉杖も使い方を習って借りてきていたのですが、翌日には使わなくてよいようになりました。

そのようなことで、お正月の準備がすごく気になっていましたが、年越しそばもお節も準備できませんでした。

元日祭の福引の準備だけはさせてもらっていましたが良かったのですが、お雑煮などもできないままでした。

後日、診察予約を取り一月十五日に、かかりつけの先生に診てもらったことになりました。

その時は、どうにか歩けるようになっていました。「躁ぐるぶし」の辺りが熱を持ってるかな」ということで、前と同じ薬を湿布と一緒に出して下さいました。

血液検査などをしていただきますと「血圧やコレステロールの数値が高めですから、薬を出しておきます、ようすを見てみましょう」ということでした。

二ヶ月ほどしてから、また血液検査がありました。表を見られますと「心配するようなことは何もないので時々検査に来てください」ということでした。

それからは、二か月に一度ほど薬がなくなるまで診てもらおうようなことで、一年ほど大井病院に通わせていただきました。

薬を頂く時や湿布を貼らせていただく時には、御神米を貼らせていただいておりますが、今年一年は病院にお世話になることが多かったことを反省させられるようなことでした。

しかし、そこの年齢なのかなと、いろいろも考えさせられました。

また、常日頃からの健康のお礼の申しようがどうなのかということや、自分の健康管理がどうだったのかと反省させられました。

今も血圧とコレステロールの薬を頂いており、二・三ヶ月に一回血液検査があり、検査結果を見られても「異常はありません」と仰って下さっています。

金光教では、み教えにありますように、

「痛いのが治ったのありがたいのではない。いつもまめながありがたいのぞ。」

でありますから、日頃から健康に過ごさせてもらっていることをお礼を申す稽古が大事なことであったと思わせていただくようなこととございます。

痛みが取れると安心してしまいがちになりますが、秋の生神金光大神御大祭(十一月十七日)前、十一月の初め頃でしたが、首を寝違えて痛みが激しくなり、振り向くこともできなくなり、車を運転することはできませんのですが、バックを確認するこ

とが難しくなってしまうようなことでした。

いろんなことが思い通りにできずに、悔しい思いをしたようなことでした。

おかげで今は回復させていただきましたが、良かったです。良かったです。また健康のお礼の足りなくなっているか、と痛くて大変だった時のことを思い出しながら、信心の稽古をさせていただいているようなことです。

今年一年、健康のお礼の足りなさということを反省させられたようなことです。

あと十日ほどで、新しい年がやってきますが、健康のお礼がシッカリ申せるように信心を進めさせていただかねばならないと思えます。

(おわり)



長男が多発性骨髄腫に…

宮川花子さんと同じ難病

命は助かり、家族信心に

青木トミ子氏の、名城教会での感話発表
原稿を来月から何回かに分け掲載します。

愛知県愛西市にお住いの、青木宗一さん、トミ子さんご夫妻は、実のお姉様の故向江ナツ工先生が御用しておられた、佐屋教会(加治木教会から愛知県が閉鎖された後、名古屋市内にある名城教会)に参拝して信心に励んでおられます。

トミ子さんの旧姓は向江で加治木教会の布教昭和二十六年当初からの熱心で手厚い信心家族でした。

トミ子さんは、鹿児島を離れて滋賀県に就職された頃は、草津教会(滋賀県に参拝しておられました)。

当時、末信奉者であった宗一さんとの結婚を草津教会の先生にお願いされますと「末信奉者との結婚はよくない」とのお言葉でした。

しかし、トミ子さんの信念は固く「必ず夫を信心に導き、家族で信心できるよう導きますから」と押しお願いされました。



すると先生は「そうか、それならばよからう」とのお言葉で、結婚のお許しをいただきました。それからのこと、四十年ほど経った六年前、二人息子の次男敏秋さんの次男輝龍(きりゅう)君が、五四五グラムという超未熟児で誕生しました。

敏秋さん夫婦は、未熟児網膜症や心臓やヘルニアなどの度重なる手術のたびに、お母さんのトミ子さんの勧めで、名城教会へ電話でお願いとお礼のお届けができるようになり、その後お医者さんも驚かれるほど順調な成長のおかげを蒙り、現在小学校一年生で元気に通学できています。さらに敏明さんは、家族で教会へお引き寄せ頂けるようになりました。そのような中の一昨年、京都の老人施設で調理長の仕事に、元気に当たっていた長男の久治さんが、肩か

ら足首にかけ五か所に多発性骨髄腫(宮川花子さんと同じ病気で、十万人に五人という難病)を発症し、京都大学病院で入院治療をすることとなりました。

久治さんも、お母さんの勧めで教会へ、ちくいちお願いとお礼のお届けをして行きました。

それからというもの、末信奉者だった奥さんも神様におすがりする気になり家に神様のお社をお祀りして、大学生の二人の息子さんも皆でおすがりして信心を進めて行くほどに、抗癌剤が的確に効き、すべての腫瘍が消えてしまいました。が、薬の副作用で下半身マヒの車椅子生活となつてしまいました。

しかし命は助かり、家族で信心ができるようになりました。

青木トミ子さんは四十年前に、鹿児島から就職して出てきた岐阜県で参拝していた草津教会の先生に「必ず夫を信心に導き、家族で信心できるよう導きますから」と約束したことが「やっと今日、家族孫まで信心できるおかげを頂き約束が果たせました、ありがたいことです」喜んでおられます。

南九州教区 信徒部教区委員会

開催される(上田和也)

十二月十四日・十五日、宮崎県都城教会で、南九州教区信徒部 教区委員会が開かれ、鹿児島地方教会連合会から、入木田覺さん(大口教会)、内門三朗さん(鹿児島教会)と私の三人で出席させていただきました。

出席者は、センター所長の森義信先生、都城教会長の桑原一嘉先生、鹿児島地方から三名、宮崎県から四名、熊本県から四名、大分県南部から二名、大分県北部から三名で十四名の出席でした。

最初に、都城教会長の桑原一嘉先生のお話があり、都城教会の初代高松栄先生の、信心体験や布教当初のことを中心にお話がありました。

初代の先生はお母様から「ここで鳴らぬ太鼓はどこでも鳴らない」と仰られ辛抱されたそうで、加治木教会ご布教当初のお話によく似ていました。



上田和也氏

昔の先生方のご布教は、どちらの教会も大変なご苦労があたりだったと思わせていただきました。



都城教会



また、綾教会の信徒の菅沼さんというご七十才代のご婦人の方がお話され、

「孫の高校進学の時、第一志望に落ち、第二志望に行くことになったけれども、後々信者さんと結婚するご縁ができて、信心が続くこととなり有難いことになっています。」とお話されました。

委員会の議題では *

○第三回 全国信徒会 四国大会

(来年度、七月十八日今治市で開催)

○全国信徒会報「あいよかけよ」

購読部数の増部促進について

○女性委員が増員の推進

○輔教の増員と働きかけ

このことが主に説明され、意見が出されていきました。

また、来年度から鹿児島地方の信徒部教区委員として、枕崎教会の松下淑子さんが御用にあたられることになりました。これからのご活躍をお祈り致しております。

「胎教」たいきょうについて

教祖様のみ教えには「胎教」について教えてあることが、いくつかあります。

その中でも「天地は語る」(教典抄)には、

「³¹⁵ 女は世界の田地である。世界の田地を肥やしておかなければ尊いものができない。種をまいても、やせ畑にはよい作物ができない。女は妊娠の時間が大事である。心の良い悪いは子にうつる。体に子が宿ると、食事が進み、珍しい物でも欲しいという心になりやすいが、隠れて食べられるようなことでは、よい子はできない。陰ひあなたの心を持った子ができるから、そばの者がよく気づかかってあげるがよい。」
とあります。

妊娠中の母親の心の持ち方について教えておられます。良い心になることを心がけておくと、その心が子にうつり良い心の子となるとい

とです。

また、妊娠中の母親の心の持ち方だけでなく、そばの者の心の持ち方まで、気をつけておくべきことが教えられています。

子どもが良い人生をあゆむことができるための正しい心の持ち方や、愛情・真心の深さ、善悪・正邪の判断にまでも、大きな影響をおよぼすと考えておくべきでしょう。

胎教については、世の中では知性や音楽の才能などを伸ばすために注目されますが、信心する人は豊かな心を育てるために注視すべきでありましょう。



さらに、前半の「女は世界の田地である。世界の田地を肥やしておかなければ尊いものができない。」というところも意味深い内容があります。

女性の「知・徳・体」すべての資性が豊かに育ち家庭はもちろんな社会でも活躍すべきことは言うまでもありませんが、女性が子育てしやすいよう、安心して活躍するためには、女性の社会的・制度的「地位」「立場」を護まなければならないことも充実させて行かなければなりません。

そうすれば、ヨーロッパの進んだ制度の国々のように、出生率の低下に歯とめがかかり、将来も安心です。

将来、いろんな制度の「破綻」が心配なれなさやかれている日本の、国家社会の将来を豊かにするために、子育ての中心的役割を担う「世界の田地」である女性の立場を守るということができるようになることが望まれます。

台風15号・19号はじめ、各地で発生した豪雨・地震により被災された方々の一日も早い復興、安心、立ち行きをお祈りさせていただきます。

※募金は教会の支援金箱にどうぞ

金光教本部「災害救援・社会活動資金」の募金
郵便振替口座番号 01200-3-14845
加入者名 金光教本部教庁 災害救援社会活動資金



鹿児島地方教会連合会「社会活動支援金」の振込先
ゆうちょ銀行<記号>17820
<番号>19085871<名義>金光教鹿児島災害対策室 代表 矢野 章



12月22日(日)月例祭後、例年感謝パーティーが開かれています。現在少年少女会に参加する小学生がほとんどおらず、ささやかな感謝茶会となりました。写真ビデオ「加治木教会この一年」を見ながらこの一年を振り返らせていただきました。

あしあと

加治木教会行事記録

- 12月
- 1 (日) ●報徳月例祭 10時半
 - 3 (火) ●甘木親教会御大祭
 - 9 (月) 清掃御用 10時
 - 10 (火) ●生神金光 大神様 月例祭 10時半
 - 12 (木) 連布教協議会(鹿児島県) 10時半
 - 14 (土) 15 (日) 信徒部教区委員会
 - 15 (日) 御本部布教功労者報徳祭選拝
 - 21 (土) 清掃御用 10時
 - 22 (日) ●月例祭・共励会 13時半
 - " ●感謝パーティー16時より
 - 28 (土) (光風館予約日、済)
 - 29 (日) 清掃御用 10時
 - 30 (月) ●越年祭 13時半

ご霊神様の

おまじ



一月

- 中村宗吉 之舞 (4日) 昭和61年
 - 松田常衛門 之舞 (4日) 大正9年
 - 中村正義 之舞 (5日) 昭和21年
 - 内村ハル工 之舞 (6日) 昭和59年
 - 有馬幸子 之舞 (9日) 平成16年
 - 西本五男 之舞 (11日) 平成15年
 - 濱口マツ工 之舞 (11日) 平成27年
 - 濱口勝次 之舞 (11日) 昭和27年
 - 前田正蔵 之舞 (13日) 昭和39年
 - 瀬戸セミ 之舞 (14日) 昭和56年
 - 小野敷勝 之舞 (14日) 平成1年
 - 信國鈴子 之舞 (20日) 平成5年
 - 中島ふさ 之舞 (20日) 平成16年
 - 福山瑞枝 之舞 (20日) 平成21年
 - 瀬戸俊子 之舞 (23日) 平成27年
 - 柳園義男 之舞 (24日) 昭和8年
 - 本中野イセマツ 之舞 (25日) 昭和59年
 - 岡山エウ 之舞 (25日) 平成20年
 - 桐野仲助 之舞 (27日) 昭和21年
 - 瀬尾 清 之舞 (27日) 昭和41年
- （先祖の）ご霊神様の、現世・幽冥（かくりよ）でのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんして教会で、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。

一月三日(金)

甘木親教会年頭参拝

出発く午前七時半

一月五日(日) 十時半より

少年少女会鏡開き・七草

※お祭りのあと、おかがみ餅を焼いて、ぜんざいと七草たこ焼きを作ります!

一月十日(金) 十時半より

加治木教会 月例祭に併せて

成人感謝祭 奉仕

※成人者、玉串奉奠・記念品授与。

一月二十六日(日) 十時より

場所く鹿児島教会

鹿児島地方教会連合会

定期総会

教会行事

令和二年

1月

- 1 (祝) ●元日祭 正午
 - 3 (金) 甘木親教会年頭参拝
 - 5 (日) ★少年少女会「鏡開き」10時半
 - 9 (木) 清掃御用 10時
 - 10 (金) ●月例祭(生神金光大神様) 10時半
併せて 成人感謝祭
 - 11 (土) 濱口家霊祭
 - 12 (日) 上荒田教会報徳祭
 - 19 (日) 高千穂教会新築落成奉告祭
 - 21 (火) 清掃御用 10時
 - 22 (水) ●月例祭・共励会 13時半
 - 26 (日) 連合会定期総会(鹿児島教会にて) 10時
 - 31 (金) 清掃御用 10時
- 《未定行事》青年会・若婦人会

2月

- 1 (土) ●報徳月例祭 10時半
 - 4 (火) 甘木親教会初代立日
 - 8 (土) 御用奉仕
 - 9 (日) ●加治木教会報徳祭
 - 17 (月) ●甘木親教会 報徳祭 11時
 - 18 (火) 甘木親教会「同釜会」
 - 21 (金) 清掃御用 10時半
 - 22 (土) ●月例祭・共励会 13時半
 - 23 (日) 少年少女会(節分) 10時半
 - 29 (土) 清掃御用 10時半
- 《未定行事》青年会・若婦人会

二月二十七日く二月七日
報徳祭 奉迎
寒中一斉信行
ご祈念・研修く午前五時十五分・午前十時

